倉敷第一中学校学校だより



校訓

自分をたいせつにする 他をたいせつにする 新しく生きる

> No. 9 令和2年6月18日

授業時数確保 モジュール学





昨年度末から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、倉敷市内の小 中学校の授業時数が不足することが心配されています。倉敷第一中学校 では、そういった不測の事態に備え、今年度の教育課程の中に、年間 12 回の「モジュール学習」を計画していました。

「モジュール学習」は授業1単位時間50分を10分ずつ5回に分け て、5日間で1教科の授業が1回終了した形で行う学習です。学年ごと に同じ教科を行うので、1回で各学年の学級数と同じ授業時間を確保で きます。内容は、授業で扱っている内容のプリントが中心で、教科担任 が点検し、学期末の評価に加えます。

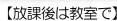
今週で2回目になりますが、朝の会前の10分間、校内がしーんと静 まり、全校生徒が黙々とプリントの問題に取り組んでいます。土曜授業 日の設定や夏休み短縮などもあって、必要時数は確保できそうです。

蒼相談週間

6月15日から、今年度1回目の教育相談 が始まっています。学校が再開して2週間。 休み中の思いや、今の様子、これからの目標 など、悩みだけでなく、広く心のケアをする

ことをねらって、担任が生徒全員と話をしています。【授業中は廊下で】







恒例の靴箱そうじを頑張っています

倉敷第一中学校には伝統的な取組みがいくつかありますが、朝の靴箱 そうじもその一つです。朝8時20分になると、各学級からほうきを持 った生徒が一人ずつ来て、自分の学年の靴箱周辺を掃除します。最後に 自分の学級の靴がきちんとそろっているか確認したら、学年の先生から OK が出ます。わずか5分間の取組みですが、きちんとした靴箱を見る と、心がとても穏やかになります。

給食の風景



全学年の体育で体力テスト を実施しています。コロナ ウイルスの影響はデータに も表れているでしょうか。

給食を食べるときだけはマスク をはずしますが、机は全員前に 向けたままで静かにあいさつ。

